

2009 年度 三重中勢ブロック宣教司牧計画評価

カトリック京都司教 大塚喜直 様

2009 年度中勢ブロック代表 富永 勲

長期目標と短期目標

1. 将来を担う子供・青少年への対応

①中高生、春の黙想会・秋の交流会

●3/28～29 阿山ふるさとの森で、サレジオ会 田村宣行神父指導

テーマ：わたしの召命 ミサ・黙想・十字架の道行・ゆるしの秘跡・分かち合い・ゲーム等。 中高生 16名含む31人が参加

●中高生、秋の交流会

10/17 アカペの家で、サレジオ会 田村宣行神父指導

テーマ：神の愛と恵みに感謝～秋の収穫に～ 大阪津守教会 池田神父の話
ごんべい農場で体験実習 田村神父の祈りと話し、歌・さつま芋掘り・
柿ぼり・鶏小屋見学等。 中高生5名含む12人が参加

②小中高生のサマーキャンプ

7/25～26 ヘルズプラザ 四日市サレジオ志願院で、サレジオ会 田村宣行神父指導

テーマ：「召命」～耳をすまそう、イエスさまの声に～
中高生：「私の召命 パート2」

ミサ・聖劇の練習（小学生）・中高生の活動・ミニロザリオ・聖歌練習・
みことば劇発表等。 小中高生36名含む60人が参加

③リーダー研修会に参加

冬のリーダー黙想会

11/28～29 阿山ふるさとの森で、サレジオ会 濱崎敦神父 6人が参加

④釜が崎体験学習 2010年2月に実施予定。

※・サレジオ志願院の協力で、中勢ブロックの活動が充実してきた。

- ・教会に来る幼児は多いが、小中高生の参加がクラブ活動等で少なくなっている。
今後もブロック活動のうちに、つながりを作っていく必要性あり。
- ・中高生のため、通信網を教会の行事などに合わせて作り、訪問している。
直接会って状況がわかるため交流を図ることに役だっている。
教会に来られない親たちとの交わりを持つことが出来る。
- ・青少年については、県外にいる人が多く、仕事と教会の両立が難しい。
少しでも、行事を通して関わりを持ってもらえるように声をかけたり、協力して
もらえるよう、働きかけたい。

2. 滞日外国人とのかかわり

- ・外国語ミサへの参加

ブロック内小教区でも、月に数回、外国語ミサをしている。一般の信徒に参加を呼びかけているが、参加者は少ない。

- ・三重国際ファミリーデーへの参加

某教会は、主日のミサを返上し、三重国際ファミリーデーに参加した。

某教会で企画準備のため、連絡が遅くブロック全体に行き渡らず。

今後ブロック単位か、三重協議会レベルで企画準備する必要がある。

- ・支援、募金

三重県の外国人緊急食糧、生活用品と募金を実施。

ブロック及び県レベルで、連絡網を作り取り組んだ。

また行政と連絡を取り、相談への対応をとった小教区もあった。

外国人の人数は減ったが、まだ今後続ける必要がある。

3. 宣教への取り組み

- ・教理、聖書講座を開いているが求道者が少ない。チラシ等で、外部に呼びかける必要がある。信徒も一緒に参加するとよい。

- ・ホームページの開設

一般の人が見て、面白い、興味を引く、教会へ行ってみたい。と思いたくなる内容。

信徒むきには、より有意義な内容。聖書の話、教理の話、歴史的な話など。

一部の人が、するのでなく、多くの信徒から情報を取り入れる。

三重中勢ブロックのページを作っても良いのでは。月に、1回の更新は必要。

- ・地域の人々とのふれあい

餅つき（某教会・復活祭に実施） 地域の人との触れ合いの場所を提供（教会施設）

話し合いの広場で福音宣教をとりあげ、共同体として歩む方法を模索（某教会）

4. 信仰を深めるための生涯努力

- ・黙想会（待降節・四旬節 各小教区）ブロック単位での黙想会を考えたいが閉鎖的で困難な状況。

- ・協議会主催 聖書講座への参加 会場近くの教会の人は、多く参加するが、ブロック内でも遠くの教会の人は、人数が限られてくる。

- ・教区主催 典礼学習会（河原町教会 年に2回） 某教会から8人が参加。

- ・聖体奉仕者、集会司式者のブロック内の学習会が実施できなかった。

- ・司教様の年頭書簡の分かち合い。

- ・話し合いの広場における自己認識。（某教会）

5. 支え合う共同体づくり

- ・第20回ウォーカソン三重（津教会）への積極的参加。

- ・部会の参加を呼び掛け。（某教会） ・病人の訪問、買い物等の手伝い（某教会）

- ・某教会 女性部 交流会・手芸講座・フラワーアレンジメント

男性部 交流会・保育園バザーへの協力・地区集会